



多くの人々でにぎわった桜まつり

イベントの開催について

質問(本澤節子議員) 大田原のよさを実感できるイベントの開催について伺います。

答弁(産業文化部長) 大田原市総合計画、新大田原レインボープランの基本施策の一つである「活かみなぎる豊かな産業のまち」の実現を図るべく、豊かな自然や文化遺産を最大限活用し、史跡や文化、伝統などを学ぶ知の旅、自然、水、田園、温泉などに親しむいやしの旅、地域の農産物や特産品をおいしく食する食の旅などをテーマ

として各種施策を展開しておりますが、その施策の一つとして、祭りやイベントの開催にも積極的に取り組んでおります。春の桜まつりや屋台まつりに始まり、夏の紫陽花まつりや夏まつり、与一まつりに花火大会、秋に開催される産業文化祭や紅葉まつり、冬のイルミネーションコンテストなど、四季折々に各地区で多彩な催し物が開催され、年間40万人以上の方に楽しんでいただいております。これらの祭りやイベントで

は、米を初め、ウドやネギ等の野菜、トウガラシ製品やアユなど、本市特産品としての食を紹介するイベントや、桜やアジサイ、紅葉等の自然の美しさを生かしたイベント、また本市の豊かな産業文化を紹介するイベント等も多く、郷土愛がはぐくまれ、地域の連帯意識が培われるとともに、大田原市のよさを実感していただきながら、その経済効果にも期待するところであります。

今後も祭りやイベントを通して本市のよさが実感できるよう、創意工夫を重ねてまいりたいと考えております。

行政サービスの向上について

質問(益子岩夫議員) 行政サービスの向上について伺います。

答弁(市長) 窓口サービスにつきましては、市民の皆様が満足していただける窓口業務を目指すため、窓口業務の改善に積極的に取り組んでおります。市民課での一例を申し上げますと、市民課の窓口において、カウンターの改修工事により、ローカウンターを設置いたしました。市民の皆様がカウンターで着座して対応できるようにいたしました。また、個人情報

報の観点や同姓同名の方に対して誤った交付を防ぐため、窓口を訪れた市民の皆様が番号札をお配りし、番号でお呼びすることなども実施されることになっております。

さらに、本年四月一日から湯津上支所及び黒羽支所に設置しております自動交付機による交付業務を一時延長し、午後六時三十分までとすることにいたしました。権限移譲による旅券発給事務につきましては、本年十月一日

から市民課窓口で対応できることとなります。市民課以外の窓口サービスにつきましても、市民の皆様の声に耳を傾け、改善できるところは積極的に改善することとしております。

職員の接遇につきましては、各種の職員研修の後、特に接遇研修を重点的に実施し、毎年三十名以上の職員が接客対応や電話対応、クレーム対応などについて研修をしておりまして、市民の皆様への満足度を高めるため、さらに職員の接遇向上に努めてまいりたいと考えております。



自動交付機による交付が午後6時30分まで延長されます